

4

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5 億円
		通常砂防事業 うらかけ 裏掛川		内用地補償費	0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
姫路市 夢前町 ^{みやおき} 宮置			19年度	19年度	22年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、(主)姫路神河線、災害時要援護者施設である三恵城山保育園を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m , L = 60.0m) [負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2]		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全、安心		・裏掛川は土石流危険渓流である。 ・平成16年10月の台風23号により、渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃している。土石流対策としては、既設えん堤があるが、満砂しており、整備率は低い水準にある。 ・流域状況は渓流勾配約1 / 4.5と急で、渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 10戸、公共施設 = (主)姫路神河線、市道、三恵城山保育園(災害時要援護者施設、入園者数60人)、田畑 = 0.25ha (保全戸数は30戸)			
地域の活性化		・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、第二次緊急輸送道路である(主)姫路神河線を保全することにより、物流交流のネットワークの確保に寄与する。			
快適性・ゆとり		・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。			
その他		・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人命・財産(人家10戸)、(主)姫路神河線、市道、三恵城山保育園(災害時要援護者施設)が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。			
(4)優先性		・土石流の想定被害区域には人家10戸のほか(主)姫路神河線、市道、三恵城山保育園(災害時要援護者施設)がある。 ・流域状況は平成16年10月の台風23号により土砂が流出し、流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、宮置地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。			